

「認知症」地域で支えるために 認知症とともに暮らすまちづくり



県では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症の高齢者やその家族を地域全体で支援する体制づくりを推進するため、様々な取り組みを展開しています。

認知症高齢者に対する支援

県は、県内の認知症対策にかかわる施策全般について効果的な体制づくりを図るため、平成十九年度に「沖縄県認知症施策推進検討委員会」を設置し、同委員会から助言や提言を受けています。

また、認知症に対する理解の促進のため、本県では平成二十三年度末までに**認知症サポーター**（※1）を二万四千人まで増やすことを目標に、認知症サポーター養成講座の開催を推進しています。

そのほか、認知症に対する相談や支援体制の整備を図るため、地域において医療と介護の連携の推進役となる認知症サポーター医の養成や、高齢者が日頃、受診している主治医（かかりつけ医）に対し、適切な認知症診断の知識・技術や家族からの話を聞く姿勢を習得するための「かかりつけ医認知症対応力向上研修」の実施な

どを行っています。

※1 認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者です。

認知症地域支援体制構築等推進事業

認知症対策の一つとして、認知症の方が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、地域において有効な支援体制を構築していく認知症地域支援体制構築等推進事業を実施しています。

県は、最初のモデル地域として浦添市を選定し、次のような事業を展開しています。

モデル地域の取り組み

認知症に対する正しい知識の普及を図るため、市の広報誌に今年で「シリーズ正しく知ろう認知症」を掲載し、認知症の基礎知識や予防、介護サービスなどについ

てわかりやすく紹介しました。

また、市民参加の「認知症フォーラムinうらそえ」の開催や、市内五つの中学校区ごとに認知症専門医による「もの忘れ講演会」を行いました。

さらに、市内の認知症に関する様々な地域資源（相談機関、医療機関、介護サービス事業所など）の情報を地図情報として整理した「認知症地域資源マップ」を作成し、今年の六月から市のホームページ上で運用を始めました。このシステムは、浦添市ホーム

ページのトップページからアクセスが可能で、事業所の名称や住所のほか、中学校区ごとの地域別、サービスや機関の種類別などのキーワードで検索できるようになっています。

そのほか、介護職員や介護サポーターの質の向上を目的に市内の**認知症グループホーム**（※2）職員研修会を開催したり、今年度は、お互いの介護経験についての情報交換や相談できる場として認知症の方の家族の集いの開催も予定しています。



物忘れ講演会



広報うらそえ



認知症フォーラムinうらそえ(H20.10.11開催 参加者 約880名)

浦添市認知症地域資源マップ

浦添市のホームページのトップページから「認知症地域資源マップ」に入ると画面が表示されます。

それぞれをよ！
それぞれをよ！
それぞれをよ！

浦添市の保健福祉センターが表示されます。

自宅に近い保健福祉センターをフリック！

住所、電話番号、地図、写真が表示されます。

これなら私にもできるわ！

※2 認知症グループホームとは、認知症の方を対象として、居室、居間、浴室などを備えた家庭的な雰囲気ながら日常生活の介護を受けられる事業所のこと

県の取り組み

県では、認知症対応型サービスの内容を広く県民へ情報提供するため、県内の介護サービス事業所における認知症ケアの具体的な取組事例集を作成しました。

この事例集は、各市町村等に配布したほか、県のホームページにも掲載しています。



認知症とともに一地域のなかで自分らしく一（取組事例集）

高齢化が進む中、六十五歳以上の高齢者の約十人に一人が認知症を有しているといわれています。県では今後も認知症高齢者が安心して地域で暮らしていけるよう地域における支援体制構築の推進に努めていきます。

「認知症とともに暮らすまちづくり」わが町にできることから始めてみませんか。

お問い合わせ 県高齢者福祉介護課 TEL : 098-866-2214 FAX : 098-862-6325